

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名	アットホーム(ホームぬくもり)		
開催日時	令和7年7月30日		
開催場所	ホームぬくもり リビング		
出席者	構成員	人数	備考
	事業所職員	4名	管理者、世話人代表、事務局職員、サービス管理責任者
	入居者	1名	
	入居者ご家族	3名	
	地域の関係者	1名	民生委員
	福祉に知見を有する方	1名	安城市社会福祉協議会職員
	経営に知見を有する方	名	
議題	市町村担当職員	1名	安城市障害福祉課職員
	(1) 主催者挨拶・地域連携推進会議の目的等 (2) 出席者紹介 (3) 会計報告 (4) グループホームの取り組みおよび利用者の様子説明 (5) 施設訪問時の感想（構成員の感想） (6) 意見交換など		
	(1) 主催者挨拶 管理者より 今回より、ホームの保護者会を地域連携推進会議を兼ねて行う。グループホームは全国的に孤立、密室になりがちで不適切な対応や支援が起こりやすい。それを防止するためにも令和7年度より、これを義務化し、利用者、職員、保護者だけでなく、第3者(地域の方々)にも参加していただき、グループホームの透明性、オープンにすることを目的とする。ホームの中身を地域の方々にも知っていただくことによって虐待などを未然に防ぐ。 (2)～(3) 略 (4) 世話人より 猛暑が続いている、これからも心配されることがあると思う。ホームぬくもりでは就寝前に空調の調整、23時の夜間の見回りの際にも自室に入させていただき、微調整している。おかげさまでみなさん夏バテや食欲不振の様子も見られず、元気にぬくもりの家へ行っている。また、口腔ケアにも力を注いでおり、歯科通院の際に磨き残し等の注意や指摘があると職員同士で共有している。今後も月に1度職員間で行うミーティングで利用者の状態、支援の統一などり合わせて行う。また、保護者様には利用者の所有物(特にハンカチ、肌着、靴下)には新しく下した場合には、間違いを防ぐためにも名前の記入にご協力願いたい。		
	(5) 構成員さまより ・利用者、保護者共に関係も良好であることを感じた。引き続きこの環境を維持していただきたい。 ・初めて見学させていただいたが、親亡き後に障がい者の暮らしを守るために必要かつ大事であると感じた。高齢者だけでなく、今後は障がい者にも目を向け、できることなど連携していきたい。とても勉強になった。 ・ホームでの予算がどのように使われているのか説明いただき、会計が明朗でご家族も安心できるであろうと感じた。		
	(6) 保護者さまより ・職員の名前等が把握できるよう、シフト表を渡してほしい→今後渡すことになった。 ・わが子のかかりつけのドクターが変わっているが、本人は受け入れているようで安心している。かかりつけの歯科も閉鎖が決まっており、次にお世話になる歯科医院をどうしたら良いか、また慣れててくれるかの不安がある→日中施設内の歯科検診でお世話になっている「さくらデンタルクリニック」なら、障がいにも理解がありお任せできるのでは。本人の今までのデータを新しい所へ上手に引継ぎできるように連絡を取ってみる。		
協議内容・意見等			